

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	民法ⅠB（Civil LawⅠB）		
ナンバリングコード	E20507	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル 法律学
単位数	2	配当学年／開講期	2年／後期
必修・選択区分	選択必修:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E033151	クラス名	-
担当教員名	大西 貴之		
履修上の注意、 履修条件	履修条件はありません。		
教科書	教科書の指定はありません。授業ではレジュメを配布します。		
参考文献及び指定図書	山野目章夫『初歩からはじめる物権法』（日本評論社） 佐久間毅『民法の基礎2 物権〔第3版〕』（有斐閣） 今村与一ほか『新プリメール民法2 物権・担保物権法〔第2版〕』（法律文化社）		
関連科目	民法ⅠA、その他の法律系科目		

○基本情報		
授業の目的	本講義は民法の中の物権法分野について学ぶ科目です。 民法は、全部で5編1044条までの膨大な条文からなり、その第二編が「物権」に当たります。 物権法は、動産や不動産に対する物権（例えば所有権や抵当権等）の取得・喪失・変更のためのルールであり、ビジネス法務にも深くかかわる分野です。 本講義では、物権法の基礎を学び、その知識を用いて日常に潜む法的問題に対処ができるようになることを目指します。	
授業の概要	本講義では、最初に総論として物権の性質や基本原則や物権変動の仕組みについて学びます。それを踏まえて、各論として、民法に定められた10種の物権の解説へと進めていきます。 毎回事前に資料を公開します。講義では、その資料の内容を確認したことを前提にしてレジュメを用いて進めます。 物権法の規定や制度が現実にとどのように関わるのかイメージしやすいように、できるだけ具体例を挙げながら講義を進めます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会における民法の重要性を理解し、身近な法律トラブルに関心を持つようになること		15点	
【知識・理解】	物権法の基本的な考え方や各種物権(所有権・抵当権など)について理解すること	20点	15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	物権法における専門的な用語や言い回しについて他者に正確に説明できるようになること	25点		
【思考・判断・創造】	現実の具体的な問題に対して講義で学んだことを応用・実践できるようになること	25点		
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
期末試験は70点満点(空欄補充問題、正誤訂正問題、用語説明問題、事例論述問題)。 提出物には①コメントシート(15点満点)と②授業の内容理解を確認する必修課題(15点満点)があります。 毎回のコメントや課題へのフィードバックは、次回以降の授業にて行います。 定期試験の要点と解説についてはGoogle Classroomに掲載します。				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	民法ⅠB（Civil LawⅠB） 大西 貴之	授業コード	E033151
学修内容				
1. 「物に対する権利」？ ガイダンス、物権の種類、民法総則（民法ⅠA）やその他の法分野とのつながり				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
2. 物権法の基本原則 物権の性質と効力、物権を変動させる、それがあなたの物だとなぜ分かるの？、分かっても鵜呑みにしていいの？				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
3. 不動産物権変動（1） 不動産物権変動の対抗要件、民法177条で問題となる「第三者」、あの人は「第三者」と言っているのか？				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
4. 不動産物権変動（2） 取消しと登記、解除と登記				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
5. 不動産物権変動（3） 時効取得と登記、不動産物権変動のルールの整理				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
6. 動産物権変動 民法178条の「引渡し」、即時取得制度				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
7. 物権的請求権と占有訴権 物権の一般的効力、物権を円滑に実現するために必要な権利、占有している状態を守るための権利				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
8. 所有権 所有権を取得する方法、共有の特徴とルール				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				

○授業計画	科目名 担当教員	民法ⅠB（Civil LawⅠB） 大西 貴之	授業コード	E033151
学修内容				
9. 用益物権と相隣関係 互いに隣り合う土地の所有権を調整するルール、地上権、永小作権、地役権、入会権				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
10. 抵当権（1） 「担保」とは、抵当権の設定、抵当権の性質と効力、抵当権の順位				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
11. 抵当権（2） 「不動産に付加して一体となっている物」、抵当権の効力はここまで及ぶ、抵当権を実行したら土地と建物が別々の所有になったとき				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
12. 抵当権（3） 抵当権を実行したら不公平な結果になるときがある？、同時配当と異時配当、根抵当権				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
13. 典型担保 質権、留置権、先取特権、四つの担保物権の整理				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
14. 非典型担保 譲渡担保、仮登記担保、所有権留保				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと（約2.0h）				
15. まとめ これまでの振り返り、その他の物権法のルール				
予習 事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと（約2.0h）				
復習 試験の要点と解説を確認して、これまでの内容理解を定着させること（約2.0h）				
16. 期末試験 空欄補充問題、正誤訂正問題、用語説明問題、事例論述問題				
予習 15回までに配布した資料、レジュメ等をまとめて振り返ること（約2.0h）				
復習 試験の要点と解説を確認して、これまでの内容理解を定着させること（約2.0h）				